

参考文献一覧

検査項目

測定参考文献

蛋白・膠質反応

総蛋白(TP)	Gornall AG et al : J Biol Chem 177 : 751 ~ 766, 1949.
アルブミン(Alb)	浅井 孝道 : 検査と技術 7 (10) : 815 ~ 820, 1979.
尿中アルブミン	舩方 栄二 : 検査と技術 3 (7) : 625 ~ 630, 2005.
尿中アルブミン(クレアチニン換算値)	舩方 栄二 : 検査と技術 3 (7) : 625 ~ 630, 2005.
A/G比	浅井 孝道 : 検査と技術 7 (10) : 815 ~ 820, 1979.
蛋白分画	伊藤 喜久 : Medical Technology 39 (3) : 278 ~ 284, 2011.
尿中蛋白分画	伊藤 喜久 : Medical Technology 39 (3) : 278 ~ 284, 2011.
クンゲル反応(ZTT)	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 第34版 (金原出版) : 458, 2015.

酵素および関連物質

CK(CPK)	日本臨床化学会 : 臨床化学 19 (2) : 184 ~ 208, 1990.
CK-MB(CPK-MB)(免疫阻止-UV法)	Wurzburg U et al : Klinische Wochenschrift 54 : 357 ~ 360, 1976.
CK-MB(CPK-MB)(CLIA)	Piran U et al : Clinical Chemistry 33 (9) : 1517 ~ 1520, 1987.
CK(CPK)アイソザイム	高木 康,他 : 臨床検査 32 (11) : 1309 ~ 1315, 1988.
AST(GOT)	日本臨床化学会 : 臨床化学 18 (4) : 226 ~ 230, 1989.
ミトコンドリア-AST(m-AST)(m-GOT)	白波瀬 泰史,他 : 第7回日本臨床化学会分析部会関東支部学術集会 講演会抄録集 : 40 ~ 44, 1989.
ALT(GPT)	日本臨床化学会 : 臨床化学 18 (4) : 250 ~ 254, 1989.
LD(LDH)IFCC	Schumann et al : Clin Chem Lab Med 49 (9) : 1439 ~ 1446, 2011.
LD(LDH)アイソザイム	森山 隆則,他 : Medical Technology 25 (1) : 45 ~ 51, 1997.
アルカリフォスファターゼ(ALP)IFCC	Schumann et al : Clin Chem Lab Med 49 (9) : 1439 ~ 1446, 2011.
骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	倉澤 健太郎,他 : 医学と薬学 55 (2) : 279 ~ 285, 2006.
ALPアイソザイム(IFCC)	芝 紀代子 : 目でみる電気泳動法 2 (医歯薬出版) : 55 ~ 71, 1989.
γ-GT(γ-GTP)	日本臨床化学会酵素専門委員会 : 臨床化学 24 (2) : 106 ~ 121, 1995.
アルドラーゼ	三浦 雅一,他 : 臨床検査機器・試薬 12 (5) : 1005 ~ 1009, 1989.
コリンエステラーゼ(ChE)	大澤 進,他 : 臨床化学 24 : 138 ~ 145, 1995.
グアナーゼ	手登根 稔,他 : 検査と技術 13 (10) : 901 ~ 905, 1985.
アデノシンデアミナーゼ(ADA)	佐野 史良,他 : 臨床検査機器・試薬 9 (4) : 715 ~ 720, 1986.
ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	小林 照明,他 : 臨床検査機器・試薬14 (6) : 929 ~ 935, 1991.
アミラーゼ(AMY)	高笠 信之 : The Chemical Times 201 (3) : 9 ~ 11, 2006.
アミラーゼアイソザイム	星野 忠,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 37 (3) : 293 ~ 297, 2012.
P型アミラーゼ定量	高笠 信之 : The Chemical Times 201 (3) : 9 ~ 11, 2006.
リパーゼ	林 長蔵,他 : 臨床検査機器・試薬 9 (22) : 225 ~ 233, 1986.
トリプシン	植田 進之介,他 : 医学と薬学 77 (12) : 1659 ~ 1668, 2020.
膵ホスホリパーゼA ₂ (膵PLA ₂)	竹田 昌弘,他 : ホルモンと臨床 38 (7) : 729 ~ 734, 1990.
エラスターゼ1	大出 勝也,他 : 肝と膵 23 (6) : 477 ~ 480, 2002.
子宮頸管粘液中 顆粒球エラスターゼ	北村 光,他 : 臨床検査機器・試薬 21 (4) : 357 ~ 361, 1998.
骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ(TRACP-5b)	西沢 良記,他 : 医学と薬学 54 (5) : 709 ~ 717, 2005.
リゾチーム	北村 元仕 : 実践臨床化学 増補 : 432 ~ 436, 1982.
アンギオテンシン I 転換酵素(ACE)	Kasahara Y et al : Clinical Chemistry 27 (11) : 1922 ~ 1925, 1981.
ヘプシノゲン	三木 一正,他 : 医学と薬学 56 (6) : 889 ~ 896, 2006.
MMP-3 (マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	氏家 真二,他 : 医学と薬学 67 (5) : 741 ~ 747, 2012.
胃がんリスク層別化検査(ABC分類)(LA)	乾 正幸,他 : 日本ヘリコバクター学会誌 19 (1) : 33 ~ 42, 2017.

低分子窒素化合物

クレアチニン	安原 正善,他 : 臨床検査機器・試薬 17 (1) : 59 ~ 67, 1994.
シスタチン C	Tanaka M, et al : Clinical Biochemistry 37 : 27 ~ 35, 2004.
尿酸(UA)	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第32版 (金原出版) : 503 ~ 507, 2005.
尿素窒素(UN)	森下 芳孝 : Medical Technology 26 (6) : 695 ~ 700, 1998.
アンモニア	奥田 拓道,他 : 最新医学 21 (3) : 622 ~ 627, 1966.
アミノ酸分析(39種類)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
アミノ酸分析(41種類)	日本生化学会 : 生化学実験講座11 アミノ酸代謝と生体アミン 1版 : 53 ~ 67, 1976.
アミノ酸分析(9種類)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
アミノ酸分析2種類(チロシン・フェニルアラニン)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)	中村 俊之,他 : 臨床病理 37 (8) : 911 ~ 917, 1989.
γ-アミノ酪酸(GABA)	Fujiwara M et al : Analytical Biochemistry 166 : 72 ~ 78, 1987.
ハイドロキシプロリン-総	鈴木 隆夫,他 : 日本臨床化学会年会記録 28 : 118, 1988.
血中総ホモシステイン	Christian Hellmuth, et al : Journal of Chromatography B, 879 : 83 ~ 89, 2011.

糖質および関連物質

グルコース	日本臨床化学会試薬専門委員会 : 臨床化学 20 (4) : 247 ~ 254, 1991.
ヘモグロビンA1c(HbA1c)(NGSP)	水松 良光,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 41 (2) : 215 ~ 220, 2016.
グリコアルブミン	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 52 (3) : 403 ~ 412, 2004.
ヒアルロン酸	島村 朗,他 : 医学と薬学 44 (6) : 1141 ~ 1146, 2000.

検査項目 測定参考文献

1,5-アンヒドロ-D- グルシトール(1,5AG)	浅藤 輝夫,他: 医療と検査機器・試薬 26 (1): 45 ~ 50, 2003.
シアル酸	水田 巨,他: 臨床病理 特 (54): 128 ~ 134, 1983.

有機酸

乳酸	浅沼 和子,他: 生物試料分析 8 (3): 16 ~ 24, 1985.
ビルビン酸	浅沼 和子,他: 生物試料分析 8 (3): 16 ~ 24, 1985.
尿中シュウ酸	小川 由英,他: 腎と透析 臨増: 151 ~ 157, 1997.
クエン酸	Warty VS et al: Clinical Chemistry 30 (7): 1231 ~ 1233, 1984.
血中ケトン体分画	西ヶ谷 晴美,他: 医学検査 45 (3): 353, 1996.
アセトン定量	深掘 すみ江,他: 労働科学 59 (12): 555 ~ 562, 1983.
有機酸スクリーニング検査	河野 芳功,他: 日本小児科学会雑誌 89 (10): 2327 ~ 2334, 1985.

脂質および関連物質

中性脂肪(TG)	Tamaoku K et al: Chem Pharm Bull 30 (7): 2492 ~ 2497, 1982.
リン脂質	Takayama M et al: Clinica Chimica Acta 79: 93 ~ 98, 1977.
遊離脂肪酸(NEFA)	Sugo S, et al: Clinical Chemistry 36 (1): 163, 1990.
総コレステロール(T-Chol)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第34版 (金原出版): 512, 2015.
エステル型コレステロール(Echo)	Richmond W: Clinical Chemistry 19 (12): 1350 ~ 1356, 1973.
遊離コレステロール(F-Chol)	Richmond W: Clinical Chemistry 19 (12): 1350 ~ 1356, 1973.
HDL-コレステロール	田口 隆由,他: 臨床検査機器・試薬 24 (1): 35 ~ 41, 2001.
HDL _{2,3} コレステロール	Bronzert TJ et al: Clinical Chemistry 23 (11): 2089 ~ 2098, 1977.
LDL-コレステロール	菅野 剛史,他: 医学と薬学 37 (3): 635 ~ 644, 1997.
レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)	大石 千早,他: 日本臨床検査自動化学会誌 35 (1): 83 ~ 87, 2010.
酸化LDL(MDA-LDL)	小谷 一夫: 酸化ストレスマーカー 学術出版センター: 243 ~ 246, 2005.
sd LDL-C(健診)	伊藤 康樹,他: 日本臨床検査自動化学会誌 37 (1): 10 ~ 16, 2012.
脂肪酸分画(24成分)	小沢 昭夫,他: 分析化学 31: 87 ~ 91, 1982.
脂肪酸分画(4成分)	小沢 昭夫,他: 分析化学 31: 87 ~ 91, 1982.
極長鎖脂肪酸	小池 亮子: 小児科診療 53 (増): 394 ~ 397, 1990.
総胆汁酸	今野 稔: 臨床検査機器・試薬 16 (3): 472 ~ 479, 1993.
グリコール酸(CG)	金森 勇雄,他: 日本放射線技師会雑誌 26 (4): 17 ~ 22, 1978.
β-リポ蛋白	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第32版 (金原出版): 548, 2005.
リポ蛋白分画(アガロースゲル電気泳動法)	芝 紀代子: 目でみる電気泳動法2: 91 ~ 99, 1989.
リポ蛋白分画(ポリアクリルアミドゲルディスク電気泳動法)	菅原 和行,他: 衛生検査 27 (5): 624 ~ 627, 1978.
コレステロール分画	櫻林 郁之介,他: HDL-コレステロール基礎と臨床 (株)テクノ: 207 ~ 220, 1980.
リポ蛋白(a)	岡野 芳幸,他: 日本臨床検査自動化学会誌 21 (5): 705 ~ 709, 1996.
リポ蛋白リパーゼ(LPL)	Kobayashi J et al: Clinica Chimica Acta 216: 113 ~ 123, 1993.
アポリポ蛋白 A-I	岡崎 伸次,他: 日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 A-II	岡崎 伸次,他: 日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 B	岡崎 伸次,他: 日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 C-II	岡崎 伸次,他: 日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 C-III	岡崎 伸次,他: 日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 E	岡崎 伸次,他: 日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白Eフェノタイプ	片岡 伸久朗,他: 臨床検査 37 (12): 1267 ~ 1271, 1993.
肺サーファクタント プロテインA(SP-A)	大木 卓,他: 医学と薬学 71 (1): 161 ~ 166, 2014.
肺サーファクタント プロテインD(SP-D)	土居 耕介,他: 医学と薬学 78 (3): 261 ~ 267, 2021.

ビタミンおよび関連物質

β-カロチン	加美山 茂利,他: 臨床検査 31 (3): 268 ~ 274, 1987.
ビタミンA	須原 聡,他: 臨床検査 36 (3): 235 ~ 239, 1992.
ビタミンB ₁	宮川 秀則,他: 生物試料分析 36 (4): 327 ~ 330, 2013.
ビタミンB ₂	大石 誠子: ビタミンハンドブック3 ビタミン分析法(化学同人): 71 ~ 80, 1989.
ビタミンB ₆	吉田 継親,他: 薬学雑誌 98 (10): 1319 ~ 1326, 1978.
ビタミンB ₁₂	中森 誠,他: 医療と検査機器・試薬 27 (3): 215 ~ 221, 2004.
カルニチン分画	伊丹 儀友,他: 臨床検査58 (5): 651 ~ 658, 2014.
ビタミンC(アスコルビン酸)	Lykkesfeldt J et al: Analytical Biochemistry 229: 329~335, 1995.
25OHビタミンD(骨粗鬆症)	小島 哲: 臨床化学 48 (3): 239 ~ 244, 2019.
25ヒドロキシビタミンD(くる病・骨軟化症)	小島 哲: 臨床化学 48 (3): 239 ~ 244, 2019.
1,25-(OH) ₂ ビタミンD	Fraser WD et al: Ann Clin Biochem 34: 632~637, 1997.
ビタミンE	阿部 皓一,他: 栄養と食糧 28 (5): 277 ~ 280, 1975.
ビタミンE分画	阿部 皓一,他: ビタミン 49 (7): 259 ~ 263, 1975.
ビタミンK分画	langenberg JP et al: Journal of Chromatography 305: 61 ~ 72, 1984.
葉酸	西村 和子,他: 生物試料分析 35 (4): 300 ~ 309, 2012.
ニコチン酸(ナイアシン)	宮沢 滋: ビタミン 56 (9・10): 487 ~ 499, 1982.

参考文献一覧

検査項目

測定参考文献

電解質・血液ガス

Na(ナトリウム)	桑 克彦: 臨床検査 34 (11): 1353 ~ 1358, 1990.
K(カリウム)	桑 克彦: 臨床検査 34 (11): 1353 ~ 1358, 1990. と高橋 勝幸: 検査と技術 20 (6): 106 ~ 110, 1992.
Cl(クロール)	関口 光夫: 検査と技術 17 (9): 1167 ~ 1172, 1989. と桑 克彦: 臨床検査 34 (11): 1353 ~ 1358, 1990.
Mg(マグネシウム)	北村 元仕: 実践臨床化学 1版 (医歯薬出版): 166 ~ 171, 1974.
Ca(カルシウム)	根占 哲也: 都臨技会誌 34 (5): 270 ~ 281, 2006.
イオン化カルシウム	桑 克彦: 検査と技術 19 (2): 119 ~ 124, 1991.
P(無機リン)	Drewes PA: Clinica Chimica Acta 39: 81 ~ 88, 1972.
浸透圧	鈴木 明,他: 検査と技術 6 (9): 759 ~ 762, 1978.

生体微量元素

鉄(Fe)(血清)	荒明 洋,他: 臨床検査機器・試薬 6 (2): 359 ~ 366, 1983.
鉄(Fe)(尿)	溝口 秀昭: 臨床医 8 (10): 1624 ~ 1626, 1982.
総鉄結合能(TIBC)	荒明 洋,他: 臨床検査機器・試薬 6 (2): 359 ~ 366, 1983.
不飽和鉄結合能(UIBC)	荒明 洋,他: 臨床検査機器・試薬 6 (2): 359 ~ 366, 1983.
Cu(銅)(血清)	Abe A et al: Clinical Chemistry 35 (4): 552 ~ 554, 1989.
Cu(銅)(尿)	Ichida T et al: Clinica Chimica Acta 24: 299 ~ 303, 1969.
Zn(亜鉛)(血清)	井上 哲,他: 医療と検査機器・試薬41 (3): 283 ~ 287, 2018.
Zn(亜鉛)(尿)	Meret S et al: Clinical Chemistry 17 (5): 369 ~ 373, 1971.

生体色素関連物質

総ビリルビン(T-Bil)	徳田 邦明,他: 臨床化学 22 (2): 116 ~ 122, 1993.
直接ビリルビン	徳田 邦明,他: 臨床化学 22 (2): 116 ~ 122, 1993.
間接ビリルビン	徳田 邦明,他: 臨床化学 22 (2): 116 ~ 122, 1993.
コプロポルフィリン 定性	近藤 雅雄: 日本臨床 53 (6): 1377 ~ 1382, 1995.
コプロポルフィリン(尿)	近藤 雅雄: 日本臨床 53 (6): 1377 ~ 1382, 1995.
コプロポルフィリン(血液)	Salmi M et al: Clinical Chemistry 26 (13): 1832 ~ 1835, 1980.
ウロポルフィリン(尿)	近藤 雅雄: 日本臨床 53 (6): 1377 ~ 1382, 1995.
ウロポルフィリン(血液)	Salmi M et al: Clinical Chemistry 26 (13): 1832 ~ 1835, 1980.
プロトポルフィリン	Salmi M et al: Clinical Chemistry 26 (13): 1832 ~ 1835, 1980.
δ -アミノレブリン酸(δ ALA)	園藤 陽子,他: 産業医学 35: 126 ~ 127, 1993.

毒物・産業医学的代謝物質

尿中総三塩化物 トリクロルエチレン	城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中総三塩化物 1・1・1-トリクロルエタン	城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中総三塩化物 テトラクロルエチレン	城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 トリクロルエチレン	城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 1・1・1-トリクロルエタン	城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 テトラクロルエチレン	城山 康,他: 松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中馬尿酸	岸浪 菊江子,他: 臨床化学 17 (3): 128 ~ 135, 1988.
尿中メチル馬尿酸	岸浪 菊江子,他: 臨床化学 17 (3): 128 ~ 135, 1988.
尿中スチレン代謝物	岸浪 菊江子,他: 臨床化学 17 (3): 128 ~ 135, 1988.
尿中マンデル酸エチルベンゼン	岸浪 菊江子,他: 臨床化学 17 (3): 128 ~ 135, 1988.
尿中N-メチルホルムアミド	Mraz J et al: Journal of Chromatography 414: 399 ~ 404, 1987.
尿中2,5-ヘキサジオン	Iwata M et al: Int Arch Occup Environ Health 51: 253 ~ 260, 1983.
アルミニウム(AI)	Oster O: Clinica Chimica Acta 114: 53 ~ 60, 1981.
クロム	松岡 澄: 産業医学 13 (6): 525 ~ 537, 1971. と田中 俊行,他: 医学と生物学 101 (5): 277 ~ 281, 1980.
カドミウム	Lagesson V et al: Clinical Chemistry 25 (11): 1948 ~ 1953, 1979.
マンガン	Tslev DL et al: Bulletin of Environmental Contamination & Toxicology 17 (6): 660 ~ 666, 1977.

生化学(その他)

ネオプテリン	Hausen A et al: Journal of Chromatography 227: 61 ~ 70, 1982.
エタノール	馬嶋 正隆,他: 北里医学 14: 424 ~ 430, 1984.
イヌリン定量	木全 伸介,他: 医療と検査機器・試薬 28 (2): 143 ~ 149, 2005.
結石分析(成分比率)	神 ちひろ,他: 分析化学 53 (7): 735 ~ 741, 2004.

抗菌薬

アミカシン	木村 英樹,他: 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5): 860 ~ 864, 2008.
トブラマイシン	木村 英樹,他: 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5): 860 ~ 864, 2008.
ゲンタマイシン	石橋 みどり,他: 医学と薬学 42 (6): 1061 ~ 1074, 1999.
バンコマイシン	石澤 春美,他: 栃木県臨床衛生検査技師会雑誌 8 (2): 103 ~ 107, 2013.
テイコプラニン	諸岡 美里,他: 日本臨床検査自動化学会誌 38 (1): 79 ~ 82, 2013.

検査項目

測定参考文献

抗てんかん薬

カルバマゼピン	石橋 みどり,他:医学と薬学 42 (6):1061~1074,1999.
ジアゼパム	Brodie RR et al: Journal of Chromatography 150:361~366,1978.
エトスクシミド	宮本 侃治:臨床化学 6 (3):202~211,1978.
フェノバルビタール	石橋 みどり,他:医学と薬学 42 (6):1061~1074,1999.
フェニトイン	石橋 みどり,他:医学と薬学 42 (6):1061~1074,1999.
遊離フェニトイン	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5):860~864,2008.
プリミドン	宮本 侃治:臨床化学 6 (3):202~211,1978.
バルプロ酸	石橋 みどり,他:医学と薬学 42 (6):1061~1074,1999.
遊離バルプロ酸	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5):860~864,2008.
トリメタジオン	斉藤 正行,他:ドラッグレベルモニタリング 治療への臨床化学的アプローチ:100~110,1982.
ソニサミド	安田 真依,他:医療と検査機器・試薬 38 (2):205~210,2015.
トピラマート	Matar, K M: Clinica Chimica Acta 411:729~734,2010.
レベチラセタム	Mendu, D R, Soldin S J: Clinical Biochemistry 43:485~489,2010.
ステリベントール	Deeb S, et al: J Anal Toxicol 38 (8):485~494,2014.
ルフィナミド	Deeb S, et al: J Anal Toxicol 38 (8):485~494,2014.
ベランパネル	Mano Y, et al: J Pharm Biomed Anal 107:56~62,2015.
ラコサミド	Drew Payto, et al: Bioanalysis 6 (23):3161~3168,2014.
アセタゾラミド	Sadee W et al: ドラッグレベルモニタリング:90~91,1982.

免疫抑制薬

シクロスポリン	古屋 実,他:医学と薬学 70 (5・6):961~973,2013.
タクロリムス	古屋 実,他:医学と薬学 70 (5・6):961~973,2013.
ミコフェノール酸	細坪 秀夫,他:今日の移植 14 (4):485~491,2001.

循環器用薬

ジゴキシン	水内 由利,他:医学と薬学 35 (4):847~851,1996.
ジソピラミド	扇谷 茂樹,他:臨床検査機器・試薬 6 (2):520~523,1983.
リドカイン	宮本 侃治:臨床化学 6 (3):202~211,1978.
プロカインアミド	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5):860~864,2008.
プロプラノロール	Ahnoff M et al: Journal of Chromatography 340:73~138,1985.
ビルメノール	市川 林,他:臨床医薬 11 (4):903~906,1995.
キニジン	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5):860~864,2008.

精神神経用薬

ハロペリドール	白井 晶子,他:医学と薬学 49 (6):1011~1017,2003.
ブロムペリドール	白井 晶子,他:医学と薬学 50 (1):101~107,2003.
リチウム	細羽 恵美子,他:臨床化学 46 (1):39~46,2017.

薬物(その他)

アセトアミノフェン	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5):860~864,2008.
テオフィリン	石橋 みどり,他:医学と薬学 42 (6):1061~1074,1999.
サリチル酸	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5):860~864,2008.
ヘパリン	Teien A et al: Thrombosis Reseach 8 (3):413~416,1976.
メトトレキサート	中原 佑香里,他:医学と薬学 72 (4):761~767,2015.
イマチニブ	Bakhtiar R, et al: Journal of Chromatography B 768:325~340,2002.

血液一般・形態検査

血液一般検査	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版):265~295,2005.
好酸球数	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版):265~295,2005.
網赤血球数(RET)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版):265~295,2005.
末梢血液像	西 国瓜,他:血液形態観察のすすめ方 第2版:1~288,1995. 巽 典之,他:自動血液検査品質保証論:26~27,2005.
赤血球沈降速度	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版):367~370,2005.
鼻汁中好酸球	奥田 稔:臨床検査 29 (3):267~272,1985.

凝固・線溶関連検査

活性化部分 トロンボプラスチン時間(APTT)	日野 志郎:臨床検査講座 15 血液学:244~250,1984.
プロトロンビン時間(PT)	高宮 脩:臨床検査機器・試薬 17 (6):1079~1085,1994.
フィブリノーゲン(FIB)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第33版(金原出版):358~360,2010.
可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)	八戸 雅孝,他:臨床病理 60 (12)別冊:1139~1144,2012.
フィブリンモノマー複合体定量	内藤 澄悦,他:医学と薬学 48 (4):595~599,2002.
FDP定量(血漿)	長野 美恵子,他:医療と検査機器・試薬 27 (1):23~29,2004.
FDP定量(尿)	堀内 伸純,他:臨床検査機器・試薬 14 (2):267~270,1991.

検査項目

測定参考文献

Dダイマー	大石 彩,他: Sysmex Journal Web 17 (4): 1 ~ 10, 2016.
プロトロンビンフラグメントF1+2	Pelzer H, et al: Thrombosis and Haemostasis 65 (2): 153 ~ 159, 1991.
アンチトロンビンⅢ(ATⅢ)	Scully MF et al: Clinica Chimica Acta 79: 595 ~ 602, 1977.
トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体(TAT)	木村 真波,他: 医療と検査機器・試薬 33 (4): 525 ~ 533, 2010.
プラスミノゲン	Friberger P et al: Haemostasis 7: 138 ~ 145, 1978.
アンチプラスミン(α_2 プラスミンインヒビター)	Friberger P et al: Haemostasis 7: 138 ~ 145, 1978.
α_2 プラスミンインヒビター・プラスミン複合体(PICテスト)	徐 吉夫,他: 臨床検査機器・試薬 16 (6): 1107 ~ 1113, 1993.
トータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体)	曾我部 万紀,他: 医学のあゆみ 173 (12): 997 ~ 998, 1995.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)[合成基質法]	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第34版(金原出版): 407 ~ 410, 2015.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)[合成基質法]	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第34版(金原出版): 407 ~ 410, 2015.
凝固因子活性検査 第Ⅱ因子(F2)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅴ因子(F5)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅶ因子(F7)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅹ因子(F10)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅺ因子(F11)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅻ因子(F12)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅻ因子(F13)	Fickenscher K et al: Thrombosis and Haemostasis 65 (5): 535 ~ 540, 1991.
凝固抑制因子検査 第Ⅷ(8)因子	Sirridge MS et al: Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd: 196 ~ 198, 1983.
凝固抑制因子検査 第Ⅸ(9)因子	Sirridge MS et al: Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd: 196 ~ 198, 1983.
フォン・ウィルブラント因子活性(リストセチンコファクター)	Macfarlane DE et al: Thrombosis and Haemostasis 34: 306 ~ 308, 1975.
フォン・ウィルブラント因子マルチマー解析	Susan Oliver et al: international journal of laboratory hematology 41 (6): 762 ~ 771, 2019.
ADAMTS13-活性	伊藤 晋,他: 日本輸血細胞治療学会誌 56 (1): 27 ~ 35, 2010.
ADAMTS13 インヒビター	伊藤 晋,他: 日本輸血細胞治療学会誌 56 (1): 27 ~ 35, 2010.
β -トロンボグロブリン(β -TG)	高橋 芳右,他: 血液と脈管 18 (4): 326 ~ 335, 1987.
血小板第4因子(PF-4)	高橋 芳右,他: 血液と脈管 18 (4): 326 ~ 335, 1987.
プロテインC(抗原量)	筒井 聡明,他: 検査と技術 12 (7): 581 ~ 587, 1984.
プロテインC活性	藤岡 貴: 医学と薬学 73 (5): 621 ~ 626, 2016.
プロテインS(抗原量)	安藤 秀実,他: 医療と検査機器・試薬 41 (5): 509 ~ 519, 2018.
プロテインS活性	藤岡 貴: 医学と薬学 73 (5): 621 ~ 626, 2016.
プロテインS(遊離型抗原量)	安藤 秀実,他: 医療と検査機器・試薬 41 (5): 509 ~ 519, 2018.
トロンボモジュリン	小野 真巳,他: 日本臨床検査自動化学会誌 38 (1): 114 ~ 117, 2013.

視床下部・下垂体ホルモン

成長ホルモン(GH)	小山 沙世,他: 医学と薬学 68 (5): 899 ~ 910, 2012.
IGF-I(ソマトメジンC)	高須 重人,他: ホルモンと臨床 44 (4): 383 ~ 391, 1996.
プロラクチン	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
黄体形成ホルモン(LH)	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
IVF-黄体形成ホルモン(LH)	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
卵胞刺激ホルモン(FSH)	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
IVF-卵胞刺激ホルモン(FSH)	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
甲状腺刺激ホルモン(TSH)[CLEIA]IFCC	北川 亘,他: 医学と薬学 78 (1): 59 ~ 70, 2021.
抗利尿ホルモン(AVP)	田中 誠仁,他: 医学と薬学 72 (8): 1379 ~ 1388, 2015.

甲状腺ホルモンおよび結合蛋白

遊離トリヨードサイロニン(Free T ₃)	矢野 美沙紀,他: 医学と薬学 77 (5): 793 ~ 804, 2020.
遊離サイロキシニン(Free T ₄)	矢野 美沙紀,他: 医学と薬学 77 (5): 793 ~ 804, 2020.
サイログロブリン(CLEIA)	北村 由之,他: 医学と薬学 77 (12): 1683 ~ 1690, 2020.

副甲状腺ホルモン

副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	猪俣 啓子,他: 医学と薬学 74 (1): 45 ~ 54, 2017.
副甲状腺ホルモン(Whole PTH)	森山 和重,他: 医学と薬学 70 (4): 829 ~ 836, 2013.
副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)	福本 誠二,他: ホルモンと臨床 40 (12): 1309 ~ 1314, 1992.
カルシトニン	北川 亘,他: 医学と薬学 72 (1): 97 ~ 108, 2015.

副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白

17-KS7分画	石田 孝,他: 臨床化学 15 (1): 13 ~ 19, 1986.
血中11-OHCS	宇田川 美佐子,他: 臨床化学 5 (3): 321 ~ 325, 1977.
コルチゾール	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
コルチゾール(尿)	福島 靖恵,他: 臨床検査機器・試薬 22 (6): 509 ~ 514, 1999.
デヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)	増戸 梨恵,他: 医学と薬学 56 (3): 443 ~ 448, 2006.

検査項目

測定参考文献

レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系

アルドステロン(CLEIA)	佐藤 文俊,他:医学と薬学 76 (12): 1819 ~ 1826, 2019.
レニン濃度(ARC)(CLEIA)	佐藤 文俊,他:医学と薬学 76 (12): 1827 ~ 1832, 2019.
レニン活性(PRA)(EIA)	宇津 貴央,他:医学と薬学 73 (3): 311 ~ 321, 2016.
アンジオテンシン I	岩鼻 美佐,他:医学と薬学 36 (2): 297 ~ 303, 1996.
アンジオテンシン II	岩鼻 美佐,他:医学と薬学 36 (2): 297 ~ 303, 1996.

副腎髄質ホルモン

カテコールアミン総	Honda S et al : Analytica Chimica Acta 149 : 297 ~ 303, 1983.
カテコールアミン3分画(血漿)	辻 潮,他:臨床検査機器・試薬 11 (4): 635 ~ 641, 1988.
カテコールアミン3分画(尿)	Honda S et al : Analytica Chimica Acta 149 : 297 ~ 303, 1983.
メタネフリン・ノルメタネフリン分画	Clark ZD, et al : Journal of Chromatography B 879 (31): 3673 ~ 3680, 2011.
L-ドーパ	守 和子:産業医学 17 : 170 ~ 171, 1975.
ドーパミン総	守 和子:産業医学 17 : 170 ~ 171, 1975.
HVA(血漿)	Gironi A et al : Clinical Chemistry 34 (12): 2504 ~ 2506, 1988.
HVA(尿)	Gironi A et al : Clinical Chemistry 34 (12): 2504 ~ 2506, 1988.
VMA(血漿)	Gironi A et al : Clinical Chemistry 34 (12): 2504 ~ 2506, 1988.
VMA(尿)	Gironi A et al : Clinical Chemistry 34 (12): 2504 ~ 2506, 1988.
セロトニン(血液)	Anderson GM et al : Gastroenterology 88 : 86 ~ 89, 1985.
セロトニン(血漿)	Nebinger P et al : Journal of Chromatography 427 : 326 ~ 330, 1988.
5-HIAA(血漿)	小島 司,他:臨床化学 21 (2): 119 ~ 126, 1992.
5-HIAA(尿)	Mailman RB et al : Clinical Chemistry 31 (11): 1849 ~ 1854, 1985.
MHPG	宮川 富三雄:蛋白質核酸酵素 26 (9): 1089 ~ 1098, 1981.

性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白

エストラジオール(E ₂)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
IVF-エストラジオール(E ₂)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
プロゲステロン	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
IVF-プロゲステロン	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
プレグナンジオール	平井 利生,他:日本臨床検査自動化学会誌 9 (2): 564 ~ 567, 1984.
プレグナントリオール	平井 利生,他:日本臨床検査自動化学会誌 9 (2): 564 ~ 567, 1984.
テストステロン	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	Cole LA et al : Clinical Chemistry 47 (2): 308 ~ 315, 2001.
遊離HCG-β (HCG-βサブユニット)	菅原 由人,他:臨床検査機器・試薬 14 (3): 467 ~ 474, 1991.
抗ミュラー管ホルモン(AMH)(CLEIA)	浅田 義正,他:医学と薬学 76 (10): 1527 ~ 1532, 2019.

膵・消化管ホルモン

インスリン	唐澤 美佳,他:医療と検査機器・試薬 29 (5): 479 ~ 484, 2006.
C-ペプチド(CPR)	唐澤 美佳,他:医療と検査機器・試薬 29 (5): 485 ~ 491, 2006.
膵グルカゴン	稲垣 貴之,他:医学と薬学 72 (3): 491 ~ 497, 2015.
ガストリン	飯沼 一茂,他:Radioisotopes 31 (7): 350 ~ 356, 1982.

内分泌学的(その他)

サイクリックAMP	孫 孝義,他:日本内分泌学会雑誌 61 (9): 912 ~ 923, 1985.
ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	松岡 泰弘,他:医療と検査機器・試薬 33 (4): 535 ~ 540, 2010.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)	伊藤 洋子,他:医学と薬学 64 (6): 931 ~ 939, 2010.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (5): 607 ~ 617, 2017.
エリスロポエチン	増田 詩織,他:医学と薬学 67 (2): 297 ~ 306, 2012.
オステオカルシン	吉村 典子,他:Osteoporosis Japan 13 (3): 759 ~ 765, 2005.
低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	西村 順,他:医学と薬学 57 (4): 523 ~ 535, 2007.
肝細胞増殖因子(HGF)	二井谷 好行,他:臨床検査 35 (13): 1360 ~ 1364, 1991.
FGF23(CLEIA)	和泉 裕一,他:医療と検査機器・試薬 42 (3): 219 ~ 224, 2019.
アディポネクチン(LA)	Nishimura A. et al : Clinica Chimica Acta 371 : 163 ~ 168, 2006.

腫瘍関連抗原

癌胎児性抗原(CEA)	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897 ~ 907, 2006.
α-フェトプロテイン定量	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897 ~ 907, 2006.
塩基性フェトプロテイン(BFP)	設楽 光弘,他:臨床病理 36 (9): 1039 ~ 1044, 1988.
CA125	黒田 雅顕:医療と検査機器・試薬 29 (6): 589 ~ 596, 2006.
CA15-3	黒田 雅顕:医療と検査機器・試薬 29 (6): 589 ~ 596, 2006.
BCA225	小林 美耶子,他:医学と薬学 72 (7): 1249 ~ 1259, 2015.
CA19-9	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897 ~ 907, 2006.
CA72-4	矢田 紗世,他:医学と薬学 74 (7): 831 ~ 840, 2017.
シヤリルTn抗原(STN)	井村 裕夫,他:癌と化学療法 16 (9): 3213 ~ 3219, 1989.

参考文献一覧

検査項目

測定参考文献

CA54/61	野澤 志朗,他:癌と化学療法 19 (12): 2085 ~ 2093, 1992.
DUPAN-2	櫻林 郁之介,他:臨床病理 34 (6): 705 ~ 710, 1986.
シリアルLe ^x -i抗原(SLX)	井村 裕夫,他:癌と化学療法 14 (5): 1315 ~ 1321, 1987.
シリアルLe ^x 抗原(CSLEX)	三嶋 芳樹,他:医学と薬学 29 (5): 1193 ~ 1200, 1993.
NCC-ST-439	吉岡 久,他:臨床病理 35 (11): 1233 ~ 1238, 1987.
SPan-1	梅山 馨,他:臓器 3 (4): 528 ~ 539, 1988.
SCC	林 圭織,他:医学と薬学 76 (12): 1809 ~ 1818, 2019.
前立腺特異抗原(PSA)	細羽 恵美子,他:医学と薬学 76 (11): 1635 ~ 1641, 2019.
γ-セミノプロテイン(γ-Sm)	佐藤 達郎,他:医学と薬学 43 (1): 97 ~ 106, 2000.
シフラ(CYFRA)(サイトケラチン19フラグメント)	黒田 雅顕:医療と検査機器・試薬 29 (6): 597 ~ 602, 2006.
5-S-システニルドーバ(5-S-CD)	Wakamatsu K et al: Clinical Chemistry 40 (3): 495 ~ 496, 1994.
NSE(神経特異エノラーゼ)	矢田 紗世,他:医学と薬学 74 (7): 831 ~ 840, 2017.
PIVKA-II	古谷 桃子,他:医学検査 68 (1): 56 ~ 60, 2019.
ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	山本 典江,他:医療と検査機器・試薬 32 (2): 263 ~ 267, 2009.
血清抗p53抗体	橋本 礼輔,他:医学と薬学 75 (8): 955 ~ 964, 2018.
血清 HER2タンパク	LuftnerD, et al: The International Journal of Biological Markers 19 (3): 175 ~ 182, 2004.
可溶性メソテリン関連ペプチド	中町 衛,他:医学と薬学 65 (2): 261 ~ 267, 2011.
CCR4タンパク(FCM)	日本臨床検査標準協議会 血液検査標準化検討委員会:日本臨床検査標準協議会会報 18 (2): 69 ~ 107, 2003.

ウイルス感染症検査

HBVゲノタイプ	田中 靖人,他:臨床病理 57 (1): 42 ~ 47, 2009.
HBV DNA定量(IU)	菅原 昌章,他:医学と薬学 73 (10): 1329 ~ 1339, 2016.
HBs抗原(HQ)	戸来 孝,他:医学と薬学 72 (9): 1569 ~ 1577, 2015.
HBs抗体(CLEIA)	大根 久美子,他:臨床病理 63 (8): 907 ~ 912, 2015.
HBs抗体(PHA)	浦池 正次,他:臨床検査機器・試薬 17 (6): 1173 ~ 1180, 1994.
B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)	田中 靖人,他:臨床病理 54 (7): 692 ~ 698, 2006.
HBc抗体(IgG)	八橋 弘,他:医学と薬学 66 (6): 1075 ~ 1081, 2011.
IgM-HBc抗体	熊谷 保之:日本臨床検査自動化学会誌 25 (1): 70 ~ 74, 2000.
HBc抗体	森藤 隆夫,他:臨床病理 特(67): 101 ~ 108, 1986.
HA抗体	矢野 公士,他:医学と薬学 58 (1): 151 ~ 161, 2007.
IgM-HA抗体	矢野 公士,他:医学と薬学 58 (1): 151 ~ 161, 2007.
HCV群別(グルーピング)	長谷川 瞳,他:医学と薬学70 (3): 633 ~ 641, 2013.
HCV RNAコアジェノタイプ	Ohno T et al: Journal of Clinical Microbiology 35 (1): 201 ~ 207, 1997.
HCV RNA 1b(NS5A)	Enomoto N et al: The New England Journal of Medicine 334 (2): 77 ~ 81, 1996.
HCV RNA定量	菅原 昌章,他:医学と薬学 73 (10): 1329 ~ 1339, 2016.
HCV抗原(コア蛋白質)	田原 和子,他:日本臨床検査自動化学会誌 36 (2): 267 ~ 274, 2011.
HCV DCV 耐性変異(L31/Y93)	Uchida Y et al: PLoS One 9 (11): e112647: 1 ~ 7, 2014.
IgA-HEV抗体(定性)	飯野 四郎,他:医学と薬学 53 (4): 461 ~ 469, 2005.
ヒトパルボウイルスB19 IgG	要藤 裕孝,他:感染症学雑誌 69 (10): 1135 ~ 1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19 IgM	要藤 裕孝,他:感染症学雑誌 69 (10): 1135 ~ 1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19DNA 定性	Sevall JS: Molecular and Cellular Probes 4: 237 ~ 246, 1990.
ヒトパピローマウイルスDNA(16型,18型,その他ハイリスクグループ)	三浦 俊昭,他:医学と薬学 69 (1): 157 ~ 162, 2013.
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)	Clavel C et al: Diagnostic Molecular Pathology 9 (3): 145 ~ 150, 2000.
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)(LBC)	Ko. V et al: Cancer Cytopathology 108 (6): 468 ~ 474, 2006.
ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定	尾崎 聡,他:臨床病理 60 (7): 621 ~ 626, 2012.
ヒトパピローマウイルスDNA(ローリスクグループ)	Clavel C et al: Diagnostic Molecular Pathology 9 (3): 145 ~ 150, 2000.
アデノウイルス	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂): 880 ~ 886, 1988.
アデノウイルスDNA 定性	Hierholzer JC et al: Journal of Clinical Microbiology 31 (7): 1886 ~ 1891, 1993.
アデノウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 7型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 8型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 11型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 37型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス特異抗原	川名 尚,他:感染症学雑誌 61 (9): 1030 ~ 1037, 1987.
単純ヘルペスウイルス	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂): 880 ~ 886, 1988.
単純ヘルペスウイルスIgG	厚生省監修:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊: 48 ~ 61, 1987.
単純ヘルペスウイルスIgM	厚生省監修:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊: 48 ~ 61, 1987.
単純ヘルペスウイルスDNA 定性	Cao M et al: J Invest Dermatol 82: 391 ~ 392, 1989.

検査項目

測定参考文献

単純ヘルペスウイルスDNA定量	Stevens J : 実験医学 15 (7S) : 728 ~ 733, 1997.
単純ヘルペス ウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペス ウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	林 伸英,他 : 生物試料分析 36 (3) : 229 ~ 234, 2013.
水痘・带状疱疹ウイルス抗原(FA)	新村 真人,他 : 感染症学雑誌 64 (2) : 195 ~ 201, 1990.
水痘・带状疱疹ウイルス(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル (文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
水痘・带状疱疹ウイルス IgG	吉田 晃,他 : 臨床とウイルス 13 (4) : 490 ~ 496, 1985.
水痘・带状疱疹ウイルス IgM	平野 勝,他 : 医学と薬学 42 (4) : 641 ~ 645, 1999.
水痘・带状疱疹ウイルスDNA 定性	本藤 良,他 : 日本臨床 50 (特別号) : 160 ~ 165, 1992.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C10,C11)	浅井 隆善,他 : 今日の移植 7 (6) : 553 ~ 559, 1994.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C7-HRP)	権藤 久司,他 : 臨床血液 34 (11) : 1438 ~ 1444, 1993.
サイトメガロウイルス	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
サイトメガロウイルス IgG	熊田 洋高,他 : 医学と薬学 72 (6) : 1087 ~ 1094, 2015.
サイトメガロウイルス IgM	熊田 洋高,他 : 医学と薬学 72 (6) : 1087 ~ 1094, 2015.
サイトメガロウイルスDNA 定性	Olive DM et al : Journal of Clinical Microbiology 27 (6) : 1238 ~ 1242, 1989.
サイトメガロウイルス核酸検出(新生児尿)	Mitani Y, et al : Nat Methods 4 (3) : 257 ~ 262, 2007.
サイトメガロウイルス 核酸定量	森 沙耶香,他 : 医学と薬学 77 (8) : 1181 ~ 1188, 2020.
EBウイルスDNA 定量	Kimura H,et al : J Clin Microbiol 37 (1) : 132 ~ 136, 1999.
EBウイルス 抗VCA IgG(EIA)	脇口 宏,他 : 医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgG(FA)	日沼 頼夫,他 : 臨床病理 特 (35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgM(EIA)	脇口 宏,他 : 医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgM(FA)	日沼 頼夫,他 : 臨床病理 特 (35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgA	日沼 頼夫,他 : 臨床病理 特 (35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EA IgG	脇口 宏,他 : 医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗EA-DR IgG	日沼 頼夫,他 : 臨床病理 特 (35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EA-DR IgA	日沼 頼夫,他 : 臨床病理 特 (35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA	日沼 頼夫,他 : 臨床病理 特 (35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA IgG	脇口 宏,他 : 医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性	近藤 一博,他 : 蛋白質核酸酵素 35 (17) : 3041 ~ 3047, 1990.
ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性	Yalcin S et al : Archives of Virology 136 : 183 ~ 190, 1994.
エンテロ ウイルス 70型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エンテロ ウイルス 71型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群2型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群3型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群4型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群5型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群6型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群7型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス A群10型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群16型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群2型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群2型(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群3型(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群4型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群4型(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群5型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群5型(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群6型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群6型(CF)	北村 元仕,他 : 臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
エコーウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 7型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 9型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 11型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 12型(NT)	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 13型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.

参考文献一覧

検査項目

測定参考文献

エコーウイルス 14型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 16型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 17型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 18型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 22型(パレコウイルス1型)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 24型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 25型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 30型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
日本脳炎ウイルス(JaGAr株)	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第2分冊：81～97, 1987.
日本脳炎ウイルス	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
風疹ウイルス	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
風疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
風疹ウイルス IgM	佐藤 俊則,他：臨床とウイルス 23 (1)：44～47, 1995.
インフルエンザウイルス A型(H1N1)(H3N2)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
インフルエンザウイルス A型	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
インフルエンザウイルス B型(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
インフルエンザウイルス B型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
パラインフルエンザウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
RSウイルス(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
RSウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
麻疹ウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
ムンプスウイルス(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
ムンプスウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
ムンプスウイルス(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
ムンプスウイルス IgG	中山 哲夫：医学と薬学 42 (2)：303～306, 1999.
ムンプスウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
HTLV-I (ATLV) 抗体(PA)	池田 幹雄,他：図説臨床癌シリーズ 9：42～50, 1986.
HTLV-I (ATLV) 抗体(CLEIA)	植柳 泰,他：医学と薬学 73 (8)：1031～1035, 2016.
HTLV-1抗体	Zrein M, et al：Clin Diagn Lab Immunol 5 (1)：45～49, 1998.
HTLV-1核酸検出(妊婦) 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV-1プロウイルスDNA 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HIV-1RNA定量	目崎 和久,他：医学と薬学 73 (6)：705～709, 2016.
HIV-2抗体	菱田 靖,他：医学と薬学 27 (4)：959～970, 1992.
HIV抗原・抗体	桜庭 尚哉,他：医学と薬学 65 (5)：663～672, 2011.
ロタウイルス抗原	篠崎 立彦,他：小児科臨床 41 (2)：397～400, 1988.
ノロウイルス抗原	田中 智之：医学と薬学 61 (1)：93～98, 2009.
ノロウイルスRNA定性	Kageyama T, et al：J Clin Microbiol 41 (4)：1548～1557, 2003.

感染症(非ウイルス)関連検査

クラミジアトラコマトリス IgA	梶原 祥子,他：医学と薬学 37 (3)：711～719, 1997.
クラミジアトラコマトリス IgG	梶原 祥子,他：医学と薬学 37 (3)：711～719, 1997.
クラミジアトラコマトリスDNA	熊本 悦明,他：医学と薬学 66 (6)：1007～1014, 2011.
オーム病クラミドフィラ(クラミジア シッタシ)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：62～75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：62～75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgG	松本 明：第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgA	松本 明：第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgM	宮下 修行,他：小児科診療 71 (1)：95～99, 2008
抗ストレプトリジン-O 抗体(ASO)	伊藤 忠一：日本臨床 39 (6)：685～688, 1995.
抗ストレプトキナーゼ抗体(ASK)	土屋 彦治,他：臨床検査機器・試薬 7 (2)：417～422, 1984.
エンドトキシン定量	土谷 正和,他：日本細菌学雑誌 45 (6)：903～911, 1990.
透析液中エンドトキシン A液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン B液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン RO水	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン 調整液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン その他	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
百日咳抗体(EIA)	岡田 賢司：医学と薬学 65 (4)：531～536, 2011.
抗ヘリコバクターピロリ抗体(LA)	乾 正幸,他：日本ヘリコバクター学会誌 19 (1)：33～42, 2017.

検査項目	測定参考文献
便中ヘリコバクターピロリ抗原	朝日 佳代子,他:医学と薬学 57 (2): 253 ~ 260, 2007.
梅毒定性 RPR(LA)	桜庭 尚哉:医学と薬学 63 (1): 103 ~ 109, 2010.
梅毒定量 RPR(LA)	桜庭 尚哉:医学と薬学 63 (1): 103 ~ 109, 2010.
梅毒定量RPR法	福岡 良男:新訂臨床検査講座23 臨床免疫学(医歯薬出版): 361 ~ 364, 1997.
梅毒定性 TP抗体(LA)	高橋 勝幸,他:医療と検査機器・試薬 33 (1): 89 ~ 95, 2010.
梅毒定量 TP抗体(LA)	高橋 勝幸,他:医療と検査機器・試薬 33 (1): 89 ~ 95, 2010.
梅毒定量TPHA	出口 松夫,他:感染症学雑誌 68 (10): 1271 ~ 1277, 1994.
FTA-ABS	山屋 駿一:微生物検査必携 細菌・真菌検査 第3版: H83 ~ H91, 1995.
寒冷凝集反応	原島 典子,他:衛生検査 27 (1): 67 ~ 71, 1978.
マイコプラズマニューモニエ(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂): 880 ~ 886, 1988.
マイコプラズマニューモニエ(PA)	大関 トシイ,他:自治医科大学臨床検査技師年報 12: 62 ~ 64, 1988.
ツツガムシカーブ IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシカーブ IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシカトー IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシカトー IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシギリアム IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシギリアム IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
クリプトコックス・ネオフォルマンズ抗原	篠田 孝子,他:真菌と真菌症 30 (3): 211 ~ 221, 1989.
カンジダマンナン抗原	新崎 晃弘,他:臨床検査機器・試薬 23 (3): 197 ~ 203, 2000.
アスペルギルス抗体	浜本 恒男:臨床と微生物 15 (3): 352 ~ 356, 1988.
アスペルギルス抗原	見手倉 久治,他:医学と薬学 42 (1): 207 ~ 212, 1999.
β -D-グルカン	吉田 耕一郎,他:感染症学雑誌 79 (7): 433 ~ 442, 2005.
トリコスポロン・アサヒ抗体	三宅 修司,他:日本呼吸器学会誌 39 (1): 7 ~ 11, 2001.
トキソプラズマ IgG抗体	亀井 喜世子,他:臨床病理 42 (7): 743 ~ 747, 1994.
トキソプラズマ IgM抗体	亀井 喜世子,他:臨床病理 42 (7): 743 ~ 747, 1994.
結核菌特異的IFN- γ	Meier T, et al : European Journal of Clinical Microbiology & Infectious Diseases24 : 529 ~ 536, 2005.
MAC抗体(抗酸菌抗体定性)	Kitada S, et al : AMERICAN JOURNAL OF Respiratory and Critical Care Medicine 177 (1) : 793~797, 2008.
自己免疫関連検査	
抗核抗体(ANA)	東條 毅:臨床検査 30 (7): 687 ~ 692, 1986.
抗DNA抗体(RIA)	鈴木 王洋,他:臨床免疫 25 (8): 1096 ~ 1102, 1993.
抗ss-DNA IgG抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26 (6): 747 ~ 753, 2001.
抗ss-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他:医学と薬学 58 (5): 763 ~ 767, 2007.
抗ds-DNA IgG抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26 (6): 747 ~ 753, 2001.
抗ds-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他:医学と薬学 58 (5): 763 ~ 767, 2007.
抗Sm抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗Sm抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗RNP抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗RNP抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗SS-B/La抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗SS-B/La抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗Scl-70抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗Scl-70抗体(CLEIA)	松下 雅和,他:医学と薬学 70 (1): 109 ~ 117, 2013.
抗RNAポリメラーゼIII抗体	桑名 正隆:リウマチ科 40 (3): 239 ~ 245, 2008.
抗セントロメア抗体	小島 和夫,他:医学と薬学 69 (4): 677 ~ 687, 2013.
抗Jo-1抗体(オクタロニー法)	西海 正彦:臨床検査機器・試薬 13 (4): 835 ~ 838, 1990.
抗Jo-1抗体(CLEIA)	松下 雅和,他:医学と薬学 70 (1): 109 ~ 117, 2013.
抗ARS抗体	山田 祐介,他:リウマチ科 45 (2): 133 ~ 138, 2011.
リウマチ因子(RF) 定量	鬼塚 聖子,他:日本臨床検査自動化学会誌 35 (1): 17 ~ 22, 2010.
IgG型リウマチ因子	栗原 夕子,他:リウマチ科 22 (5): 499 ~ 510, 1999.
抗ガラクトース欠損IgG抗体	平山 吉郎,他:医学と薬学 42 (5): 817 ~ 828, 1999.
抗ストリン化ペプチド(CCP)抗体	山下 里美,他:医学と薬学 66 (3): 569 ~ 576, 2011.
抗ミトコンドリア抗体	山内 進,他:臨床免疫 7 (7): 825 ~ 830, 1975.
抗ミトコンドリア M2抗体	丹野 瑞木,他:医学と薬学 67 (3): 485 ~ 495, 2012.
抗平滑筋抗体	山内 進:臨床免疫 7 (7): 825 ~ 830, 1975.
抗胃壁細胞抗体	山内 進:衛生検査 22 (12): 1085 ~ 1089, 1973.
抗内因子抗体	Elizabeth A. Gomez et al : Clinical Chemistry 51 (1): 232 ~ 235, 2005.
ロイシンリッチ α 2グリコプロテイン(LRG)	高山 茂雄,他:医学と薬学 76 (12): 1769 ~ 1780, 2019.
抗甲状腺 マイクロソーム抗体(マイクロソームテスト)	土屋 彦治,他:臨床検査 28 (1): 99 ~ 101, 1984.
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)(CLEIA)	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5): 793 ~ 804, 2020.
抗甲状腺 サイログロブリン抗体(サイロイドテスト)	土屋 彦治,他:臨床検査機器・試薬 6 (4): 1007 ~ 1010, 1983.
抗サイログロブリン抗体(CLEIA)	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5): 793 ~ 804, 2020.

検査項目

測定参考文献

TSH刺激性レセプター抗体(TSAb)	上條 桂一,他:医学と薬学 71 (5):903~911,2014.
TSHレセプター抗体(定量)	小森 明日香,他:医学と薬学 46 (4):563~570,2001.
TSHレセプター抗体(CLEIA)	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5):793~804,2020.
抗GAD抗体	及川 洋一,他:医学と薬学 72 (9):1551~1560,2015.
抗IA-2抗体	川崎 英二,他:医学と薬学 66 (2):345~352,2011.
亜鉛トランスポーター 8 (ZnT8)抗体	Eiji Kawasaki et al:Acta Diabetol 51 (3):429~434,2014.
インスリン抗体	内瀧 安子,他:医学と薬学 65 (4):525~530,2011.
抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	太田 光熙,他:ホルモンと臨床 48 (1):89~93,2000.
抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗MuSK抗体)	本村 政勝,他:医学と薬学 70 (2):421~428,2013.
抗デスマグレイン1抗体	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6):989~1000,2013.
抗デスマグレイン3抗体	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6):989~1000,2013.
抗BP180抗体(血清中抗BP180NC16a抗体)	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6):989~1000,2013.
ミエリン塩基性蛋白(MBP)	Ohta M et al:Clinical Chemistry 46 (9):1326~1330,2000.
抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	白井 丈一,他:医学と薬学 68 (4):697~704,2012.
精子不活化抗体	香山 浩二:日本産科婦人科学会雑誌 42 (11):N209~N212,1990.
精子不活化抗体(SI50)	香山 浩二:日本産科婦人科学会雑誌 42 (11):N209~N212,1990.
ループスアンチコアグラント(APTT凝固時間法)	後藤 守孝,他:Modern Physician 15 (12):1545~1550,1995.
ループスアンチコアグラント(希釈ラッセル蛇毒時間法)	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5):621~626,2016.
ループスアンチコアグラント(リン脂質中和法)	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5):621~626,2016.
抗カルジオリピン β_2 グリコプロテイン I 複合体抗体(抗CL $\cdot\beta_2$ GP I抗体)	野島 順三,他:医学と薬学 32 (6):1315~1320,1994.
抗カルジオリピン抗体(IgG)	岡田 純,他:医学と薬学 36 (6):1389~1394,1996.
抗カルジオリピン抗体(IgM)	鏡木 淳一,他:医学と薬学 43 (6):1183~1188,2000.
抗血小板抗体	柴田 洋一:輸血学(中外医学社):457~470,1978.
PAIgG(血小板関連IgG)	林 悟,他:臨床病理 32 (11):1253~1257,1984.
HIT抗体(血小板第4因子 \cdot ヘパリン複合体抗体)	阪田 敏幸:医学と薬学 68 (3):547~555,2012.
抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	松下 雅和,他:医学と薬学 66 (5):823~828,2011.
抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	松下 雅和,他:医学と薬学 66 (5):823~828,2011.
抗LKM-1抗体	竹村 真理,他:医学と薬学 46 (1):109~114,2001.
免疫複合体(C1q)	中村 敏男,他:臨床免疫 14 (S5):92~100,1982.
免疫複合体(モノクローナルRF)	森 勝志,他:医学と薬学 27 (2):347~354,1992.
抗アクアポリン4抗体	高橋 利幸,他:医学と薬学 73 (10):1297~1300,2016.
抗表皮成分自己抗体(直接法)	川生 明:病理と臨床 6 (増):10~13,1988.

免疫血液学的検査

ABO式血液型	長田 広司:医薬ジャーナル 32 (S1):215~219,1996.
Rh(D因子)式血液型	長田 広司:医薬ジャーナル 32 (S1):215~219,1996.
Rh-Hr式血液型	長田 広司:医薬ジャーナル 32 (S1):215~219,1996.
血液型不適合妊娠	支倉 逸人:日本臨床 26 (2):262~272,1968.
直接クームス試験	浅井 隆善:医学のあゆみ 167 (9):700,1993.
間接クームス試験	浅井 隆善:医学のあゆみ 167 (9):700,1993.
不規則性抗体(抗体同定 \cdot 抗体価測定)	浅井 隆善:医学のあゆみ 167 (9):700,1993.

免疫グロブリン

IgG	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):823~827,1998.
IgA	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):823~827,1998.
IgM	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):823~827,1998.
IgGサブクラス分画(TIA)	川 茂幸,他:医学と薬学 74 (4):463~470,2017.
IgG2	川 茂幸,他:医学と薬学 74 (4):463~470,2017.
IgG4	松木 友里,他:医学と薬学 75 (?):849~858,2018.
免疫電気泳動(抗ヒト血清による同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版:8~26,1977.
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版:8~26,1977.
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)(DIRA)	McCudden C, et al:Clin Chem Lab Med 54 (6):1095~1104,2016.
免疫グロブリン遊離L鎖 κ/λ 比(フリーライトチェーン)	守田 由香,他:医学と薬学 74 (8):945~950,2017.
尿中免疫電気泳動(尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版:8~26,1977.
オリゴクローナルバンド	佐々木 征治,他:最新電気泳動実験法(医歯薬出版):61~74,1999.
クリオグロブリン定性	青木 紀生,他:Medical Technology 6 (8):619~624,1978.

補体および関連物質

血清補体価	中藤 聡子,他:臨床検査機器 \cdot 試薬 19 (4):609~613,1996.
C3	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):833~837,1998.
C4	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):833~837,1998.
C1q	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
C1インアクチベーター活性(C1エステラーゼインヒビター活性)	Dick W et al:Immun Infekt 13:113~118,1985.

検査項目

測定参考文献

血漿蛋白

ブリアルブミン	古田島 伸雄,他:日本臨床検査自動化学会誌 32 (1): 84 ~ 88, 2007.
α_1 -マイクログロブリン	中野 卓,他:臨床検査機器・試薬 11 (3): 469 ~ 476, 1988.
α_1 アンチトリプシン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
α_1 アシドグリコプロテイン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
レチノール結合蛋白(RBP)	古田島 伸雄,他:日本臨床検査自動化学会誌 32 (1): 84 ~ 88, 2007.
α_2 -マクログロブリン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
ハプトグロビン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
セルロプラスミン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
トランスフェリン	伊藤 忠一:検査と技術 16 (7): 593 ~ 598, 1988.
尿中トランスフェリン	齋藤 良一,他:日本臨床検査自動化学会誌 25 (5): 687 ~ 690, 2000.
尿中トランスフェリン(クレアチニン換算値)	齋藤 良一,他:日本臨床検査自動化学会誌 25 (5): 687 ~ 690, 2000.
β_2 -マイクログロブリン	伊藤 浩治,他:医療と検査機器・試薬 26 (2): 127 ~ 134, 2003.
C反応性蛋白(CRP)定量	小林 咲絵,他:医学と薬学 78 (1): 81 ~ 89, 2021.
ペントラクシン3(PTX3)	Inoue et al: Arterioscler Thromb Vasc Biol. 27 (1): 161 ~ 167, 2007.
血清アミロイドA蛋白(SAA)	永徳 広美,他:生物物理化学 37 (1): 19 ~ 23, 1993.
ミオグロビン	吉川 文雄,他:医学と薬学 37 (5): 1243 ~ 1253, 1997.
尿中ミオグロビン	吉川 文雄,他:医学と薬学 37 (5): 1243 ~ 1253, 1997.
ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)	藤田 孝,他:医療と検査機器・試薬 33 (5): 629 ~ 632, 2010.
心室筋ミオシン軽鎖 I	宮崎 修一,他:医学と薬学 52 (3): 443 ~ 449, 2004.
心筋トロポニンT	古屋 実,他:医学と薬学 74 (5): 607 ~ 617, 2017.
フェリチン	唐澤 美佳,他:医療と検査機器・試薬 29 (5): 493 ~ 497, 2006.
L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)[CLEIA]	森 さゆり,他:医療と検査機器・試薬 41 (6): 615 ~ 620, 2018.
尿中NGAL	Cullen MR,et al: Ann Clin Biochem 49 (2): 190 ~ 193, 2012.
ヒト癌胎児性フィブロネクチン	Lockwood CJ et al: The New England Journal of Medicine 325 (10): 669 ~ 674, 1991.
I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(total P1NP)	日高 好博:医学と薬学 70 (2): 357 ~ 365, 2013.
I型コラーゲンC末端 テロペプチド(I CTP)	清原 剛,他:ホルモンと臨床 42 (12): 1189 ~ 1193, 1994.
Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGI)	柴田 宏,他:臨床病理 63 (1): 72 ~ 77, 2015.
オートタキシン	島本 怜史,他:東ソー研究・技術報告 第61巻: 99 ~ 103, 2017.
プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)[CLIA]	北原 志穂,他:医学と薬学 72 (9): 1579 ~ 1590, 2015.
尿中Ⅳ型コラーゲン	小幡 賢一,他:臨床検査機器・試薬 18 (3): 439 ~ 444, 1995.
Ⅳ型コラーゲン・7S(CLEIA)	大高木 結媛,他:医学と薬学 77 (5): 785 ~ 792, 2020.
デオキシピリジノリン	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44 (7): 747 ~ 757, 1996.
デオキシピリジノリン(DPD)(骨粗鬆症)	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44 (7): 747 ~ 757, 1996.
KL-6	桜庭 尚哉,他:医学と薬学 61 (4): 629 ~ 635, 2009.
プロカルシトニン	小林 一三,他:医学と薬学 73 (4): 459 ~ 467, 2016.

サイトカイン

可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)	林 圭織,他:医学と薬学 75 (12): 1611 ~ 1620, 2018.
TARC(Th2ケモカイン)	安江 智美,他:アレルギーの臨床 34 (10): 60 ~ 65, 2014.
IL-4 (インターロイキン-4)(高感度)	Kricka LJ: Clinical Chemistry 37 (9): 1472 ~ 1481, 1991.
インターロイキン-6 (IL-6)	B Prieto, et al: Clin Chem Lab Med 48 (6): 835 ~ 838, 2010.
IL-6 (インターロイキン-6)	竹村 正男,他:医学と薬学 36 (5): 1071 ~ 1076, 1996.
IL-10 (インターロイキン-10)	Groote DD et al: Journal of Immunological Methods 177: 225 ~ 234, 1994.

アレルギー検査

IgE(非特異的IgE)[CLEIA]	櫻本 雅夫,他:アレルギーの臨床 23 (1): 62 ~ 66, 2003.
特異的IgE(MAST36アレルギー)	中川 武正,他:アレルギーの臨床 26 (3): 238 ~ 242, 2006.
特異的IgE(MAST48mix)	澤崎 健:アレルギーの臨床 38 (12): 1145 ~ 1151, 2018.
特異的IgE(汎用セットスクリーニング16)	右田 忍,他:医学と薬学 48 (1): 101 ~ 107, 2002.
特異的IgE(汎用セットコンピネーション6)	右田 忍,他:医学と薬学 48 (1): 101 ~ 107, 2002.
特異的IgE(ミックスアレルギー)	右田 忍,他:医学と薬学 48 (1): 101 ~ 107, 2002.
特異的IgE(シングルアレルギー)[CLEIA]	右田 忍,他:医学と薬学 48 (1): 101 ~ 107, 2002.
アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルギー)	奥田 勲,他:医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(シングルアレルギー)[FEIA]	奥田 勲,他:医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(Ara h 2)(ピーナッツ由来)	奥田 勲,他:医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.

細胞性免疫検査

CD34定量	Chen CH et al: Journal of Hematotherapy 3: 3 ~ 13, 1994.
高感度PNH型血球検査	日本臨床検査標準協議会 血液検査標準化検討委員会:日本臨床検査標準協議会誌 18 (2): 69 ~ 85, 2003.
白血病・リンパ腫解析検査(LLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査)	Borowitz MJ et al: American Journal of Clinical Pathology 100: 534 ~ 540, 1993.
悪性リンパ腫解析検査(MLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査)	Borowitz MJ et al: American Journal of Clinical Pathology 100: 534 ~ 540, 1993.
多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)	HASSERT J, ET AL: CYTOMETRY 22: 264 ~ 281, 1995.
多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー(8color)	Takamatsu H, et al: Int J Hematol 109 (4): 377 ~ 381, 2019.

検査項目

測定参考文献

悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)	HASSERT J, ET AL : CYTOMETRY 22 : 264 ~ 281, 1995.
PHAによるリンパ球 幼若化検査	笠原 忠,他: 臨床検査 23 (7) : 660 ~ 667, 1979.
Con-Aによるリンパ球 幼若化検査	笠原 忠,他: 臨床検査 23 (7) : 660 ~ 667, 1979.
薬剤によるリンパ球 刺激試験(DLST)	北見 啓之,他: 臨床免疫 15 (9) : 727 ~ 736, 1983.
T細胞百分率 B細胞百分率	Wauwe JV et al : Immunology 44 : 865 ~ 871, 1981.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgG	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgA	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgM	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgD	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) K	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) L	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
IgG-FcR ⁺ ・T細胞百分率	Perussia B et al : The Journal of Immunology 130 (5) : 2133 ~ 2141, 1983.
血小板表面マーカー検査 CD41	野村 昌作,他: 臨床免疫 19 (8) : 717 ~ 724, 1987.
血小板表面マーカー検査 CD42b	野村 昌作,他: 臨床免疫 19 (8) : 717 ~ 724, 1987.
Th1/Th2 (IFN- γ × IL-4/CD4)	渋谷 和子: 細胞工学 17 (5) : 807 ~ 816, 1998.
NK細胞活性	康 浩一,他: Medical Technology 21 (7) : 574 ~ 580, 1993.

先天異常の染色体検査

染色体 G-Banding	Seabright M : The Lancet 2 : 971 ~ 972, 1971.
染色体 C-Banding	Sumner AT et al : Exp Cell Res 75 : 304 ~ 306, 1972.
染色体 Q-Banding	Caspersson T et al : Hereditas 67 : 89 ~ 102, 1971.
染色体 高精度分染法	Ikeuchi T et al : Proc Japan Acad 55 (1) : 15 ~ 18, 1979.
染色体SKY(先天異常)	Veldman T et al : Nature Genetics 15 : 406 ~ 410, 1997.
脆弱X染色体(脆弱X症候群)	Sutherland GR : Science 197 : 265 ~ 266, 1977.
7染色体(ウイリアムス症候群)	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
13染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
15染色体(ブラダーウィリ症候群)	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
15染色体(アンジェルマン症候群)	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
17染色体(ミラーディカー症候群)	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
18染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
21染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
22染色体(22q11欠失)(CATCH22) conotruncal anomaly face 症候群velo-cardio-facial症候群 DiGeorge症候群	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
Y染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
Y染色体(睾丸決定遺伝子SRY)	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X,Y染色体(身長関連遺伝子SHOX)	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.

白血病や悪性リンパ腫の染色体検査

血液疾患染色体 G-Banding	Seabright M : The Lancet 2 971 ~ 972,1971.
染色体SKY(血液疾患)	Veldman T et al : Nature Genetics 15 : 406 ~ 410, 1997.
TCF3-PBX1 t(1;19)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
ALK 2p23転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
BCL6 3q27転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
CSF1R del(5)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
EGR1 del(5)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
PDGFRB 5q32転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
D7S486 del(7)長腕欠失/7染色体(7モノソミー)	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
8染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
MYC 8q24転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
IGH-MYC t(8;14)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
RUNX1-RUNX1T1(AML-MTG8) t(8;21)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
FGFR1 8p11.2転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
BCR-ABL1 t(9;22)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
末梢血好中球 BCR-ABL1 t(9;22)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
KMT2A(MLL) 11q23.3転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
IGH-CCND1(IGH-BCL1) t(11;14)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
NUP98 11p15転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
BIRC3-MALT1(API2-MALT1) t(11;18)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
ATM del(11)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
12染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
D13S319 del(13)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
IGH-BCL2 t(14;18)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
IGH-MAF t(14;16)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.

検査項目

測定参考文献

PML-RARA t(15;17)転座	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
CBFB inv(16)逆位、t(16;16)転座	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
X染色体	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
Y染色体	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
異性間BMT(骨髄移植)(X,Y染色体)	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

固形腫瘍の染色体検査

del(1)短腕欠失	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
del(19)長腕欠失	稲澤 譲治：臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

造血器腫瘍遺伝子検査

白血病キメラスクリーニング(定量)	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
WT1 mRNA定量	宮脇 修一,他：臨床血液 46 (12)：1279～1287, 2005.
Major BCR-ABL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
Major BCR-ABL1 mRNA(IS)	Hirohisa Nakamae, et al：International Journal of Hematology DOI 10.1007/s12185-015-1826-9, 2015.
Major BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES, et al：Proc Natl Acad Sci USA 85 (15)：5698～5702, 1988.
minor BCR-ABL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
minor BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES, et al：Proc Natl Acad Sci USA 85 (15)：5698～5702, 1988.
TCF3-PBX1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
TCF3-PBX1 mRNA定性	Hunger SP et al：Blood 77 (4)：687～693, 1991.
PML-RARA mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
PML-RARA mRNA定性	Borrow J et al：Science 249：1577～1580, 1990.
CBFB-MYH11 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
CBFB-MYH11 mRNA定性	Claxton DF et al：Blood 83 (7)：1750～1756, 1994.
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性	Miyoshi H et al：Proc Natl Acad Sci USA 88 (23)：10431～10434, 1991.
RUNX1-MECOM mRNA定性	Mitani K et al：The EMBO Journal 13 (3)：504～510, 1994.
ETV6-RUNX1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
ETV6-RUNX1 mRNA定性	Shurtleff SA et al：Leukemia 9 (12)：1985～1989, 1995.
KMT2A-AFF1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
KMT2A-AFF1 mRNA定性	Yamamoto K et al：Blood 83 (10)：2912～2921, 1994.
KMT2A-AFDN mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
KMT2A-AFDN mRNA定性	Yamamoto K et al：Blood 83 (10)：2912～2921, 1994.
KMT2A-MLLT3 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
KMT2A-MLLT3 mRNA定性	Yamamoto K et al：Blood 83 (10)：2912～2921, 1994.
KMT2A-MLLT1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
KMT2A-MLLT1 mRNA定性	Yamamoto K et al：Blood 83 (10)：2912～2921, 1994.
NUP98-HOXA9 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
STIL-TAL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
DEK-NUP214 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他：SRL宝函 24 (1・2)：65～68, 2000.
DEK-NUP214 mRNA定性	Soekarman D et al：Blood 79 (11)：2990～2997, 1992.

悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

RAS・BRAF遺伝子変異解析	Bando H, et al：BMC Cancer 13：405, 2013.
-----------------	---

遺伝学的検査

ジストロフィンDNA	Lai KKS et al：Clin Biochemistry 39 (4)：367～372, 2006.
アンドロゲンレセプター遺伝子CAG反復配列解析	La Spada A.R, et al：Nature 352：77～79, 1991.

移植関連遺伝子検査

HLA-A,B(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他：MHC 10 (1)：21～31, 2003.
HLA-A(DNAタイピング)	石川 善英：MHC 5 (2)：96～100, 1998.
HLA-B(DNAタイピング)	石川 善英：MHC 5 (2)：96～100, 1998.
HLA-C(DNAタイピング)	石川 善英：MHC 5 (2)：96～100, 1998.
HLA-DR(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他：MHC 10 (1)：21～31, 2003.
HLA-DRB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他：MHC 5 (2)：101～106, 1998.
HLA-DPB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他：MHC 5 (2)：101～106, 1998.
HLA-DQB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他：MHC 5 (2)：101～106, 1998.
抗HLA抗体(スクリーニング検査)	日本組織適合性学会 認定制度委員会：QCWS参考プロトコル 抗体検査(LABScreen)平成29年度版.

尿一般検査

尿一般検査	金井 泉,他：臨床検査法提要 第30版(金原出版)：99～105, 1993.
-------	---

参考文献一覧

検査項目

測定参考文献

糞便検査

虫卵(塗抹)	金井 泉,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):192~208,1993.
虫卵(集卵)	金井 泉,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):192~208,1993.
虫卵(沈澱)	金井 泉,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):192~208,1993.
便中ヘモグロビン及びトランスフェリン	加藤 節子,他:医療と検査機器・試薬 29 (5):473~478,2006.
便中ヘモグロビン定性・定量(金コロイド法)	加藤 節子,他:医療と検査機器・試薬 29 (5):473~478,2006.
消化状態	金井 泉,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):179~182,1993.

微生物学的検査

一般細菌 (塗抹鏡検、培養同定、嫌気性培養、尿中生菌数定量、薬剤感受性、目的菌、便検診検査、環境検査)	Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.1. Williams & Wilkins, 1984. Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.2. Williams & Wilkins, 1986. Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.3. Williams & Wilkins, 1989. Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.4. Williams & Wilkins, 1989. 吉田 真一(編集),柳 雄介(編集),吉開 泰信(編集):戸田新細菌学 第26版.南山堂,1974. 小栗 豊子,編 臨床微生物検査ハンドブック 第4版.三輪書店,2011. 犬塚 和久,編 堀井俊伸,監修 MICROBIAL TESTING NAVI 微生物検査ナビ 株式会社キタ・メディア,栄研化学株式会社,2013 細菌検査 塗抹・培養 ガイドライン 初版 社団法人日本衛生検査所協会,2010. Clinical Microbiology Procedures Handbook-4th edition, 2016. 抗菌薬感受性検査のための標準法-M100-S26 第26版 CLSI, 2016. 嫌気性菌検査ガイドライン 2012 初版,臨床微生物学会,2012.
ヘリコバクター培養同定・感受性	後藤 陽一郎,他:検査と技術 21 (13):1061~1066,1993. 日本化学療法学会抗菌薬感受性測定委員会,ヘリコバクターピロリ委員会:日本化学療法学会誌 50 (1):54~58,2002.
CDトキシン(GDH)	蔵田 訓,他:臨床と微生物 Vol37 No.5:465~470,2010. AJIT P. LIMAYE,他:JOURNAL of CLIMICALMICROBIOLOGY Vol.38 No.4:1696~1697,2000.
抗酸菌(抗酸菌塗抹、分離培養、薬剤感受性、結核菌群抗原)	日本結核病学会 抗酸菌検査法検討委員会:抗酸菌ガイド2016.
抗酸菌同定(質量分析)	小栗 豊子,他 臨床微生物検査ハンドブック 第4版.三輪書店,2011.
結核菌群核酸同定(TRC)	大楠 清文,他:抗酸菌検査ガイド 2016:60~65,2016.
MAC核酸同定(TRC)	田村 卓,他:日本臨床微生物学雑誌 18 (1):15~19,2008. 田村 卓,他:日本臨床微生物学雑誌 18 (1):15~19,2008.

培養同定検査

ニューモシスチスカリニ(P.jirovecii)DNA	Wakefield AE et al : The Lancet 336 : 451~453,1990.
マイコプラズマニューモニエDNA	山口 恵三,他:医学と薬学 58 (4):565~571,2007.
レジオネラDNA 定性	山口 恵三,他:医学と薬学 58 (4):565~571,2007.
百日咳菌DNA	Kamachi K,et al : J Clin Microbiol 44 (5):1899~1902,2006.
赤痢アเมอร์バDNA 定性	Tachibana H,et al : J Infect Dis 164 (4):825~826,1991.
淋菌DNA	熊本 悦明,他:医学と薬学 66 (6):1007~1014,2011.
淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定	熊本 悦明,他:医学と薬学 66 (6):1007~1014,2011.

細胞診検査

細胞診(婦人科LBCベセスダシステム)	Strander B et al : Cancer 111 (5):285~291,2007.
細胞診(婦人科ベセスダシステム)	Strander B et al : Cancer 111 (5):285~291,2007.
細胞診(婦人科LBC)	Strander B et al : Cancer 111 (5):285~291,2007.
細胞診(尿LBC)	Strander B et al : Cancer 111 (5):285~291,2007.
膀胱癌FISH(ウロビジョン)	Sarosdy MF,et al : J Urol 168 (5):1950~1954,2002.

病理組織検査

病理標本作製(一般材料)	日本臨床衛生検査技師会:病理検査技術教本(丸善出版):2017.
病理標本作製(手術材料)	日本臨床衛生検査技師会:病理検査技術教本(丸善出版):2017.
悪性リンパ腫ALKタンパク(IHC)	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
CD30(IHC)	長塩 亮,他:病理と臨床 32 (臨増):12~18,2014.
エストロゲンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177~184,1996.
プロゲステロンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177~184,1996.
エストロゲンレセプター/プロゲステロンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177~184,1996.
乳癌HER2/neuタンパク(染色法)	谷 洋一:Pharma Medica 18 (8):87~92,2000.
乳癌HER2遺伝子(FISH)	Persons DL et al : Annals of Clinical Laboratory Science 30 (1):41~48,2000.
乳癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
胃癌HER2遺伝子(FISH)	Persons DL et al : Ann Clin Lab Sci 30 (1):41~48,2000.
胃癌HER2タンパク(IHC)	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):136~143,2002.
食道癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
肺癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
肺癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
肺癌PD-L1タンパク(IHC)SP142	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
肺癌PD-L1タンパク(IHC)SP263	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
肺癌ALKタンパク(高感度IHC)	竹内 賢吾,他:臨床検査 57 (3):271~276,2013.
肺癌ALKタンパク(IHC)D5F3	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.

検査項目	測定参考文献
肺癌ALK遺伝子(FISH)	Scott J. Rodig, et al : Clinical Cancer Research 15 (16) : 5216 ~ 5223, 2009.
メラノーマPD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
CCR4タンパク(IHC)	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
AIRS[®]・AICS[®]	
男性AIRS	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
女性AIRS	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
男性AICS(5種)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
女性AICS(6種)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
その他特殊検査	
PGE-MUM(CLEIA)	森山 和重,他:医学と薬学 77 (3) : 393 ~ 401, 2020.